

編集・発行 横須賀市

第11回配本

通史編

自然・原始・
古代・中世

A 5判 974頁
価格(税込) 4,000円
オールカラー



三浦半島家系館・三浦式土器
（明倫館博物館所蔵）



三浦義明坐像
（市内大矢部・満昌寺蔵）



天神島と佐島
（PPG湘南平塚撮影）

新横須賀市史

悠久の歴史と
三浦半島の恵まれた
自然がこの1冊に!!

【「通史編 自然・原始・古代・中世」の購入方法】

■直接購入される方

横須賀市役所 本庁舎 1 階 市政情報コーナー・各行政センター・役所屋にて販売。

■郵送でお求めの方

書籍の代金(現金)と送料(切手)を、現金書留で下記市政情報コーナー宛お送りください。

~~送料は1冊450円です。2冊以上または他の刊行物などと合わせて購入される方は、~~
送料を市政情報コーナーへお問い合わせください。

※郵便番号・住所・氏名・電話番号・ご希望の書籍名・冊数を必ずご記入ください。

横須賀市役所 市政情報コーナー

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町1-1番地 電話:046-822-8186

【書籍の内容についてのお問い合わせ】

横須賀市総務部総務課 市史編さん係

電話:046-822-8150 FAX:046-827-4741 E-mail:shishi-ga@city.yokosuka.kanagawa.jp

URL:<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0210/shishi/shishi1-top.html>



通史編 自然・原始・古代・中世

本書は、右から始まる縦書きの原始および古代・中世編と、左から始まる横書きの自然編からなり、三浦半島の成り立ちから、そこで暮らす人々の営みや文化を各分野の視点から詳細に描いています。

原始
遺跡から学ぶ私たちの祖先の歩み

古代・中世
激動の時代の三浦郡地域と三浦一族

原始編は、既刊の「別編 考古」の成果に基づき、旧石器・縄文・弥生・古墳の各時代の概観や横須賀市域、ひいては三浦半島全体の特徴等を時代ごとに他地域の遺跡や遺物と対比しながらわかりやすくまとめました。

太古の人々がどのように生活空間を形成してきたか、現代に受け継がれていく流れを感じていただける内容となっています。

〔原始および古代・中世編 組見本〕



古代・中世編は、次の五章で構成しています。

第一章 古代の三浦半島
古東海道が三浦半島を経由していた律令期から、三浦氏が河内源氏との関係を強化しながら半島内に勢力をもっていく平安期までの三浦郡地域の様相をまとめました。

第二章 鎌倉時代の三浦半島と三浦一族
三浦氏は鎌倉幕府内部で大きな勢力を保持しつつ、京都政界などにも影響力をもちましたが、そうした鎌倉期の三浦氏の発展や、本宗家滅亡後の一族の様相を中心に叙述しています。

第三章 南北朝・室町時代の三浦半島と三浦一族
鎌倉幕府滅亡後の三浦介家の動向を中心に、この時期に全国に展開した三浦一族の様相や、当時の三浦郡地域の姿について描いています。

第四章 関東動乱と三浦氏
鎌倉府の滅亡に至る経緯と三浦氏との関係や、その後の関東動乱の渦中における三浦氏の動向を中心に、三浦介家の滅亡までの様相についてまとめています。

第五章 戦国大名北条氏と三浦郡
三浦氏の滅亡により小田原北条氏の支配下に入った戦国期の三浦郡地域の様相を、海からの視点などを中心に描き出しています。

自然 三浦半島の豊かな自然を知る

自然編は、地球科学と動植物の二つの章に分け、親しみやすい構成になるよう図版を多用し、巻末には「三浦半島の地質図」を付けました。

第1章では三浦半島の地質や成り立ち、活断層と災害、地形の特色、気候、陸水環境等を取り上げ、自然環境の変遷をわかりやすく説明しています。第2章では三浦半島の植物、鳥類・陸上脊椎動物、淡水魚類と海洋生物、昆虫類の概観や生息状況を詳しく紹介しています。



〔自然編 組見本〕

刊行計画 (平成・年度)

年	書籍名	年	書籍名
15	資料編 古代・中世Ⅰ	23	通史編 近世
16	資料編 近世Ⅱ		資料編 近現代Ⅲ
17	資料編 近現代Ⅰ		通史編 自然・原始・古代・中世
19	資料編 古代・中世Ⅱ	24	別編 軍事
	資料編 近世Ⅰ		別編 民俗
20	資料編 近現代Ⅱ		通史編 近現代
21	別編 文化遺産	25	別編 年表
	別編 考古		



新横須賀市史刊行のお知らせ
新横須賀市史は、市制施行百周年を記念して刊行する、本市初めての本格的な市史です。今回刊行の「通史編 自然・原始・古代・中世」は第11回配本になります。そのほかに毎年一回刊行の『市史研究横須賀』（創刊号／第11号）や、『資料編 古代・中世 補遺』なども刊行しています。